

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-324445

(43)Date of publication of application : 07.12.1993

(51)Int.Cl. G06F 12/00

(21)Application number : 04-130574 (71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing : 22.05.1992 (72)Inventor : KATSURA KENJIRO
UEHARA DAI

(54) ACCESS PERMISSION METHOD FOR FILE DATA**(57)Abstract:**

PURPOSE: To improve business efficiency by making terminal equipment numbers and access condition items into a table, registering it on a computer and judging the possibility of file data access and processing by purposes and functions at the time of using terminal equipments.

CONSTITUTION: The numbers are given to the plural terminal equipments, and these terminal equipment numbers and the possibility of access for each file, file data and data processing are made into the table and registered on the computer. At the time of operating from the terminal equipments, the possibility of performing access for each file access item and for each time of data processing is decided. On the other hand, plural access permission tables are registered, and the table to be used is designated corresponding to the time. Thus, the access is performed corresponding to the terminal numbers and the access permission tables and according to the combination of the time and the permission table, access permission is changed corresponding to the time.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-324445

(43)公開日 平成5年(1993)12月7日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 12/00

識別記号

5 3 7 A 8526-5B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-130574

(22)出願日 平成4年(1992)5月22日

(71)出願人 000008013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)発明者 桂 健二郎

大阪市北区梅田二丁目3番24号 関西三菱

電機プラントサービス株式会社内

(72)発明者 上原 ▲だい▼

大阪市北区堂島二丁目2番2号 三菱電機

株式会社関西支社内

(74)代理人 弁理士 高田 守

(54)【発明の名称】 ファイル・データのアクセス・パMISSION方法

(57)【要約】

【目的】 データ・アクセス項目、方法及びデータ処理の可否を端末機番号で行うファイル・データのアクセス・パMISSION方法を得る。

【構成】 複数台の端末機にそれぞれ番号を付け、この端末機番号とファイル毎、ファイル・データ項目毎、及びデータ処理毎のアクセス可否をテーブルにして計算機に登録する。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数台の端末機より同一のファイル・データをアクセスするファイルデータのアクセス方法において、端末機番号とアクセス条件項目をテーブルにして計算機に登録し、上記端末機使用時目的別・機能別にファイル・データ・アクセス及び処理の可否を判断することを特徴とするファイル・データのアクセス・パミッション方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、電子計算機に格納されたファイル・データを端末機からアクセスするファイル・データのアクセス・パミッション方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、電子計算機（以下単に計算機と呼ぶ）に格納された共通のファイル・データを、複数台の端末機からアクセスする場合、端末機の指定、データ・アクセス方法及び項目の選択を、端末機及び計算機で指定する方法として、端末機番号と人間系のパスワードを入力して実行されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のファイル・データのアクセス方法は以上のように行われるので、端末機単位アクセスを限定できる場合でも、パスワードを入力して実行しなければならないので、事務処理に手間がかかるという問題点があった。

【0004】この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、データ・アクセス項目、方法及びデータ処理の可否を端末機番号で行わせるファイル・データのアクセス・パミッション方法を得ることを目的とする。

| | | |
|--------|-------|-------|
| 端末機No. | 0 1 | 0 2 |
| 工事番号 | A・B・D | A・C・E |

登録した工事区分が、端末機 CRT 画面より登録・変更・取消・問い合わせができ、登録されていない工事区分は、登録・変更・取消はできないが問い合わせはできる。

【0008】実施例 2. 複数台の端末機から同一ファイル・データを使用する場合、登録・変更・取消（ファイル・データを直接アクセスする）と問合せ・出力の処理区分に分け、それぞれの端末機で処理区分を選択する方法である。処理区分に、1：登録、2：変更、3：取消、4：問合せ、5：出力等の番号を付け、下記のように端末機番号と処理区分をテーブルにし、計算機に登録して使用する。

| | | |
|--------|-----------|-----|
| 端末機No. | 0 1 | 0 2 |
| 処理区分 | 1・2・3・4・5 | 4・5 |

【0009】実施例 3. 複数台の端末機のうち、特定の端末機で特定の時間帯のみデータの登録・変更処理ができ、それ以外の時間帯は使用できないようにした方法である。

| | | |
|--------|-------|-----|
| 端末機No. | 0 1 | 0 2 |
| 処理区分 | 1・2 | 4・5 |
| 開始時刻 | 9：00 | — |
| 終了時刻 | 12：00 | — |

上記のように、端末機 1 のみ 9 時から 12 時までデータの登録・変更が可能で、他の端末機は問い合わせ及び出

とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明に係わるファイル・データのアクセス・パミッション方法は、複数台の端末機にそれぞれ番号をつけ、この端末機番号とファイル毎、ファイル・データ項目毎、及びデータ処理毎のアクセス可否をテーブルにして計算機に登録し、端末機から操作するときはファイル・アクセス項目、データ処理のアクセス可否を決定する。また、アクセス・パミッション・テーブルを複数個登録し、時刻により使用するテーブルを指定する。

【0006】

【作用】この発明におけるファイル・データのアクセス・パミッション方法は、端末機番号とアクセス・パミッション・テーブルにより実行し、時刻とパミッション・テーブルとの組み合わせにより、時刻によるアクセス・パミッションを変更できる。

【0007】

【実施例】実施例 1. 以下、この発明の実施例 1 によるファイル・データのアクセス・パミッション方法について説明する。工事番号をキー・ワードとしてデータが作成されている工事ファイルを、複数台の端末機からアクセスする場合、データを入力した端末機以外では、データの登録・変換・取消処理はできないが、全ての端末機からデータを参照することができ方法である。工事番号は英数字の文学列からなり、工事番号のある桁目に工事の種類を表す A～Z までの英字 1 文字がある。端末機毎に入力できる工事の種類があり、それ以外の工事の入力はできない。しかし、入力されたデータは全ての端末機から利用することができる。下記のテーブルを計算機に登録する。

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 0 3 | 1 0 | 1 1 | 2 0 |
|-----|-----|-----|-----|

（端末機番号と処理区分をテーブルにし、計算機に登録して使用する。）と問合せ・出力の処理区分に分け、それぞれの端末機で処理区分を選択する方法である。処理区分に、1：登録、2：変更、3：取消、4：問合せ、5：出力等の番号を付け、下記のように端末機番号と処理区分をテーブルにし、計算機に登録して使用する。

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 0 3 | 1 0 | 1 1 | 2 0 |
| 4・5 | 4・5 | 4・5 | 4・5 |

ある。下記のように、端末機番号と処理区分 1：登録、2：変更をテーブルにし、計算機に登録して使用する。

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 0 3 | 1 0 | 1 1 | 2 0 |
| 4・5 | 4・5 | 4・5 | 4・5 |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |

力処理が可能である。なお、時刻とパミッション・テーブルとの組み合わせにより、時刻によるアクセス・パミ

ッションを変更することができる。

【 0 0 1 0 】

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、端末機

単位でデータ・アクセス及び処理ができ、ファイル・データ・アクセス及びデータ処理の可否を登録変更することができるので、事務能率を向上する効果がある。